

洞 爺湖老人クラブ連合会（楽木忠会長が主催する新年恒例の演芸交流大会が、1月19日洞爺湖文化センターで開かれ、町内の老人クラブ17団体約200人が参加。各クラブの多種多様な出し物に、会場から大きな拍手が送られました。

オープニングは、寿会の吉田富男さんのカラオケ。続いて個人、団体合わせて23の演目が披露されました。

蝶ネクタイとブラウスで衣装を揃え、凛々しい歌声を聞かせる合唱やスーダラ節に合わせた酔っぱらいの寸劇など趣向を凝らしたプログラムで、参加者を楽しませました。



酔っぱらいの扮装で場内を沸かせた寿会の皆さん

## 芸達者集合 老人クラブ新年演芸交流大会

## 洞爺湖暮らしを満喫 移住者の座談会

町 内に移住した家族らを対象にした新春「洞爺湖暮らし」座談会が、1月25日月浦



楽しい洞爺湖暮らしを語る移住者の皆さん

集会所で開かれ、洞爺湖町での住み心地や不便を感じる点など率直な意見が出されました。

参加したのは、東日本大震災後に移住してきた3家族を含む12人と札幌市と大分市から移住を検討している2人。

移住者からは「新鮮な食材が手短にあり、生産者との交流も楽しい。」「子どもが楽しく過ごしているのを見て来てよかったと思う」と洞爺湖暮らしに満足している意見が寄せられました。一方「地元の人が楽しく遊べる場所があれば、移住者もそれを見てこの町で暮らしてみたいと思う」など、今後の移住事業に対する意見も出されました。

## 虻高生訪問演奏会開催 授業での練習の成果を披露

1 月26日  
JR洞

爺駅交流センターで、虻田高校3年生17人が訪問演奏会



授業での成果を披露した訪問演奏会

を開催し、授業で練習した楽曲6曲を駅利用者には披露しました。

同演奏会は、選択科目で音楽を選択した生徒たちによる学習発表会で、昨年は協会病院などで4回開催し、今年に入っては初のコンサート。

譜面と向き合いながら真剣な表情で、モンゴル800やいきものがかり、コブクロなどの人気アーティストの曲を演奏し、会場から大きな拍手が送られていました。

1 月26日の文化財防火デーにちなみ、入江・高砂貝塚館で1月28日防火訓練が行われ、約40人が参加しました。

講演中に出火したとの想定で、避難と同時に貴重な遺跡などを運び出し、引き続き同駐車場で放水や消火器を使った体験などを行い、火災から文化財を守る大切さを学びました。

その後同館で、本年度の発掘調査報告会が開かれ、栄遺跡では、町内では初の発見となる「チャシ跡」が確認されたこと。栄

2遺跡では、鯉間（ほっけま）式期の竪穴住居跡1軒、盛土1カ所、焼土3カ所の発見が報告されました。



放水体験をする児童

## 入江・高砂貝塚館で避難訓練 文化財の防火意識を高める